**「幼少・学齢期のお子さんを持つ保護者の交流会」（2019.6.29）**

6月29日（土）　　　　野洲図書館にて

スクールカウンセラーとして活動されている佐々木先生をお迎えして、計１２名の保護者の参加のもと、「幼少・学齢期のお子さんを持つ保護者の交流会」を行いました。

今回は、幼少期の保護者から小学生・中学生までの保護者たちの参加となり、我が子の障害が分かった時の気持ちの有り様や学校との連携　また、外部関係者の介入の方法・タイミング等それぞれの悩み・困りごとを共有しつつお互いの体験談も交えながら、改善につながるヒントを話し合いました。

佐々木先生からは, これまでの豊富な現場経験を踏まえたコメントをいただき、実りある交流の場となり、子どもの幼少期から思春期に向けての多岐にわたる話題の中で参加者にとって貴重な気づきをいただける場にもなりました。　佐々木先生にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

＜参加者からの感想＞

* 皆さんのお話しを聞いて、子どもにどの様な特性や障害があっても生きていてくれて、私を選んで生まれてきてくれたことが幸せだなと感じました。皆さんのお話しを聞けて良かったです。
* 日頃から持っている不安な事や不満な事を皆で意見を出し合い、先生から適切なコメントを頂き、良かったのではないかと思います。今日は、どうもありがとうございました。
* いろいろ気持ち現状を吐き出させてもらって、救われました。気力を得られたので　また、明日からの生活に活かしていきたいと思います。
* 今回は、子どもが困難な状況の中で相談させて頂き、非常に有意義な時間となりました。明日から１つ１つ対応して頑張ってまいります。　ありがとうございました。
* どうもありがとうございました。今回のような勉強会　また、実施していただけるとありがたいです。まだまだ聞きたいこと相談したいことたくさんありますので　どうぞ　よろしくお願いいたします。
* 子どもの障がいを受け止めるには時間が必要だと改めて感じました。今は辛いが悩む時期で　いろいろもがいてみようと思いました。
* 身近な問題に対して改めて考える機会になりました。今少し現状の整理をし先を見ながら行動していきたいと思います。　ありがとうございました。
* 今日は皆さんのお話しを聞いて大変なのは我が家だけではないと思いました。保護者交流会終了後も　いろいろ話せて良かったです。
* うちの子は、私が感じてできることも　そのプロセスが違うのだなと思いました。うちの子に分かる方法を見つけようと思いました。